

市民の声活かした条例づくりを — 中小企業振興基本条例 —

市は産業振興ビジョンの目標年度となる平成27年度をみすえ、中小企業振興基本条例の制定を準備しています。

市民や事業者などの声をどう反映するのか問うと市は、7月から9月にかけて6回の懇談会をおこなった。参加者からは、条例への意見だけでなく「後継者がいないため10年後が心配」などの現状や「市内の各企業に悩みや課題についてアンケートを実施し実態調査すべき」などの意見

が寄せられた。条例案の作成や中小企業振興施策に活かしたい、と答えました。

私は、視察で訪れた花巻市の産業支援施策などを紹介し、生きた施策をしているところは、どこでもよく実態をつかんでいると指摘し、条例案の作成や今後の施策に向けた基礎調査を提案しました。

市は、平成14年度から「事業所実態調査」を、平成16年度からは「景気動向調査」と名称変更し事業所の問題把握に努めてきた。懇談会でも様々な意見を頂いている。生きた条例、生きた施策とするために実態調査等の実施について研究したい、と答えました。

住民の願い実現へ施策を提案 かきた有—議員の一般質問



社会教育は無償が基本

公民館は身近にあって市民が最も気軽に利用できる施設

です。社会教育は無償で行われることが基本ですから、建物も質素に作られています。ところが最近なんでも民間商業施設と同じようにものを見る傾向が流行っているせいか、公民館でも「もつと利用料をとれ」という論議が強くなっていきます。議会では一般質問することが伝わり、多くの人が「有料になったら今の活動が続けられなくなってしまふ」などの声がたくさん寄せられました。

教育委員長の認識をただしたところ裏面の通り「社会教育の受入者は市民全体」ということでした。気軽に利用できる人が集ってこそその公民館、今後の動向にご注目ください。

市民のために働く市役所に

不況と負担増続きで市民生活はますます困難、私たちにもしっかりと相談が寄せられました。

不況打開のためにも、 消費税増税は中止に！

川越東松山民主商工会から「消費税増税の中止を求める請願書」が川越市議会に提出されました。

長引くデフレ経済下の増税は個人消費を冷え込ませ、景気をさらに悪化させる。逆進性や価格に転嫁できない中小企業・

中小業者には何ら対策もないとして増税中止を求めたものです。

日本共産党は、国民の所得が減り続けるなかでの増税は、さらなる景気低迷と国全体の税収が減り財政危機を助長する。消費税は必要という立場の方も含めて、4月からの消費税増税の中止を主張しました。

市政…談合・癒着の政治が懸念 — 二元代表制を否定するもの —

8月31日、川合よしあき後援団役員懇親会が開催され、278名の参加者を前に来賓として議長が挨拶しました。議会

直前に市から補助金が出ている12団体と市と取引関係がある18団体、党議員を除く市議会議員が多数参加して酒席が催され

消費税増税中止を求める請願書…賛否

日本共産党	○
やまぶき会	×
公明党	×
自民無所属クラブ	×
民主党	×
プロジェクト川越21	×
市民フォーラム	※
無会派・みんなの党	×
無会派・無所属	×

凡例 ○賛成 ×反対 ※1人が賛成

消費税増税の中止は、多くの国民の声でありますが、市議会では不採択になりました。

ました。

本山修一議員は一般質問を行い、問題点を指摘しました。

議長挨拶は公私混同

議長は市議会の代表であり、市民の代表でもあります。市長の後援会という私的な場で議長として挨拶させたことは、公私混同で市議会代表の立場を否定する。市長も議員も市民から選ばれ互いがけん制していく二元代表制を形骸化させる。

酒席には、市の補助金団体や契約・取引関係にある団体が出席しました。平成24年度決算などを審議する9月市議会の2日前に行われたことは、市民の目からみれば異常なことだと市長の認識をただしました。

市がメガソーラーを公募

みなさんこんにちは。今年はずっと暑い夏でしたね。



設置される資源化センター調整池

調整池で太陽光発電を行うことが発表されました。原発を無くし自然エネルギーへ転換する取組みがすすむ一方、なぐわし公園周辺の景観や、池の動植物を心配する声も。あなたはどうか感じますか。

ます。税の徴収や生活保護の相談などでは職員との間にトラブルも起きます。一方、公務員バッシングが続くなか、職員も大きなストレスにさらされています。市民の暮らしに目を向け、市民のために働ける環境づくりを求めました。

市議会報告 2013年 10・11月号

発行：日本共産党川越市議会議員団
連絡先：川越市役所内日本共産党控室
224-8811 (内線3636)
ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>
※無料で市民相談を受付けています。

市長がお詫びの答弁

市長は、「ご本人が了承されたが代表としてのあいさつを議長から頂戴したことは後援会、私自身として配慮が足らなかった。議会開会直前に私の所為で時間を費やしてお詫びいたします」と答えました。江田肇議長は反省を示し9月定例会を欠席しました。

